

昭和54年10月1日

第3種郵便物認可

名古屋手をつなぐ No.533 (10月号)

毎月1回10日発行
令和2年10月10日
頒価 一部100円

名古屋

名古屋

〒456-0031

名古屋市熱田区神宮四丁目4番5号

☎ 052(671)6211(代)

FAX 052(671)6214

社会福祉法人

名古屋手をつなぐ育成会 印刷・発行

発行責任者 理事長 山岸 梅治

ホームページ URL <https://nagoyaikuseikai.or.jp/>



「アマビエ」

新型コロナウイルス感染拡大に影響を受ける障害者雇用

新型コロナウイルス感染拡大は、障害者を雇用されている企業にも大きな影響があり、安定就労で模範となる方でさえ、余儀なく自宅待機や勤務時間短縮になる等の状況があります。コロナ禍にあり社会的不況の回復と障害者雇用は連動していると言っても過言ではなく、障害者雇用が守られる方策の展開を望みます。

また、令和3年3月までに障害者の民間企業の法定雇用率が、現在の2.2%から2.3%に引き上げられることは、会報6月号でもお知らせしたところです。しかし、雇用率が引き上げられても、障害のある方がその人に適した職業に就くことは、決して簡単な事ではありません。

国では現在、労働政策審議会(障害者雇用分科会)において、新型コロナウイルス感染症や障害者雇用率0.1%引き上げの影響を踏まえた今後の取り組みが検討されています。ハローワークの機能強化として、「労働局・ハローワークに対し、企業向け・障害者向けチーム支援の拡充を通知」、「地域障害者職業センターに対し、職務の選定・創出や配置転換等に関する専門的な支援を促進するための依頼・通知」、「障害者就業・生活支援センターに対し、休業、自宅待機、教育訓練等に関する課題聴取や支援提案を促進するための依頼・通知」、雇用福祉連携事業の分かりやすい周知として「障害保健福祉部と連携しながら、重度障害者等に対する通勤や職場等における支援(納付金制度に基づく助成金、地域生活支援事業)を周知徹底」などが、今後の取り組みとして挙げられています。(令和2年9月25日、第99回労働政策審議会(障害者雇用分科会)資料より)今後の展開を注視したいと思います。

愛知県においては、令和2年9月28日の県議会で、大村知事が「障害者を取り巻く雇用環境は、新型コロナウイルスの影響で困難な状況が続くことが懸念される」と指摘、「一人でも多くの障害者雇用を確保する」として、奨励金の支給対象をすべての中小企業に拡大すると表明しました。令和2年10月1日から、「障害者雇用義務の有無にかかわらず全ての中小企業が対象になります」とのキャッチフレーズで、～中小企業応援障害者雇用奨励金～の支給拡大が実施されました。

この施策が、障害者理解と職種拡大につながり、障害者の得意分野において力が発揮され、安定雇用につながる事や職業生活による自立が成ることを望んでいます。

令和元年の愛知県の民間企業の障害者雇用者数は3万4千人を超え、障害者雇用率も2.02%と、過去最高となったと公表しています。また、実雇用率を企業規模別でみると100人から300人未満の企業では1.77%、45.5人から100人未満の規模の企業では1.51%と中小企業においては低く、共に全国の実雇用率より低い水準にあることが分かります。公的機関においても雇用率が未達成の機関があり、雇用努力を求めたいところです。障害者雇用の促進は雇用率の引き上げだけでは解決に至らないことから、法律に基づく施策にもあるように、障害者に対しての職業指導、職業訓練、職業紹介などの推進、職業生活を通じた自立へのリハビリテーションの推進が一層なされて行かねばなりません。また雇用定着のためには、事業主と障害者双方に安定雇用に関するノウハウの提供や悩み相談、それに対するきめ細かな支援がポイントになると捉え、対策が推進されることを期待しています。

愛知県の障害者雇用状況(「障害者の雇用のために」令和2年3月愛知県発行資料より抜粋)

(1) 民間企業(令和元年6月1日現在)

企業数 (件)	うち 達成 企業数 (件)	達成 割合 (%)	法定雇用労働者数の算 定の基礎となる 労働者数 (人)	うち 障害者数 (人)	実雇用 率 (%)	全国 の実雇用 率 (%)
6,378 (6,348)	2,949 (2,788)	46.2 (43.9)	1,688,899.0 (1,664,506.5)	34,157.5 (32,764.5)	2.02 (1.97)	2.11 (2.05)

○企業規模別雇用状況(令和元年6月1日現在)

規模別 (人)	企業数 (企業)	うち 達成企業 割合(%)	基礎労働者数 (人)		実雇用率 (%)	全国の 実雇用率 (%)
			うち 障害者数 (人)	うち 障害者数 (人)		
45.5~100未満	3,089	44.2	203,647.5	3,079.0	1.51	1.71
100~300未満	2,274	49.3	355,180.5	6,290.5	1.77	1.97
300~500未満	458	44.3	162,766.5	3,224.0	1.98	1.98
500~1,000未満	327	40.7	213,944.0	4,287.0	2.00	2.11
1,000人以上	230	54.8	753,360.5	17,277.0	2.29	2.31
合計	6,378	46.2	1,688,899.0	34,157.5	2.02	2.11

(2) 公的機関(令和元年6月1日現在)

①愛知県の機関(法定雇用率2.5%)

区分	機関数 (件)	うち 達成 機関数 (件)	法定雇用労働者 数の算定の基礎 となる職員数 (人)	うち 障害者数 (人)	実雇用 率 (%)	全国の 実雇用率 (%)
愛知県知事部局	1 (1)	1 (1)	9,463.0 (9,105.5)	259.5 (252.0)	2.74 (2.77)	2.63 (2.47)
その他の愛知県機関	4 (5)	3 (5)	2,570.5 (2,955.0)	68.0 (79.0)	2.65 (2.67)	2.56 (2.32)

②愛知県等の教育委員会(法定雇用率2.4%)

区分	機関数 (件)	うち 達成 機関数 (件)	法定雇用労働者 数の算定の基礎 となる職員数 (人)	うち 障害者数 (人)	実雇用 率 (%)	全国の 実雇用率 (%)
愛知県教育委員会	1 (1)	0 (0)	32,315.5 (28,385.0)	375.0 (333.0)	1.16 (1.17)	1.87 (1.87)
名古屋市教育委員会 (*1)	1 (1)	0 (0)	10,577.0 (10,315.5)	233.0 (237.5)	2.20 (2.30)	2.03 (2.10)

(*1)市町村教育委員会のうち、中学校、高等学校及び中等学校に置かれる教諭、助教諭又は講師の任命権者であるもの。

【豪雨災害義援金】の寄託ありがとうございました。

「令和2年7月豪雨」に係る災害支援義援金及び災害等活動支援基金の募集について、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会より、お願いがありました。

全育連として「被災地においては、激甚災害の指定が見込まれることから、被害に遭われた育成会会員に対する生活再建支援等のお役に立てていただくため、災害支援義援金規定に基づき、義援金を募集し見舞金をお渡ししたい」との主旨でありました。

当会法人では、これに賛同し24支部に災害義援金の呼びかけを致しましたところ、支部会員の皆さまのご賛同をいただき、各支部より合計219,400円の義援金が寄せられました。

早速、全国手をつなぐ育成会連合会に送金致しましたのでご報告させていただきます。

被災地の方々の一日もはやい生活再建をお祈り申し上げます。

当会会員の皆さまには、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

学習部会、やっとはじめることができるようになりました！

そだつ・はたらく部会

9月18日(金)、講師として中川区障害者基幹相談支援センターの渡邊理恵子センター長にお越しいただき「**学卒後の進路選択のために家庭で取り組むこと・知っておきたいこと**」知的障害のある人たちを支える福祉サービスを学ぶ」というテーマで学習会を実施しました。



新型コロナウイルスの影響が心配されたためギリギリまで開催の判断を迷いましたが、愛知県内の感染者数が特に増えているわけではないということと、障害のある子どもの保護者にとって進路に関することを学ぶことは重要であろうと考え、決行することといたしました。

受付では初の検温・消毒の実施、座席の間隔を取り窓やドアを開放して注意を払いながら行いましたが、参加者の皆様のご協力に感謝した次第です。

渡邊センター長の講演は長年の福祉事業所での経験を生かされた具体的な内容で、基本的な進路の種別の違いや、選択するときにはどんなことに気を付ければ良いのか、また区分認定調査や、お子さんの作業実習のための事業所の選び方等をわかりやすく説明いただきました。

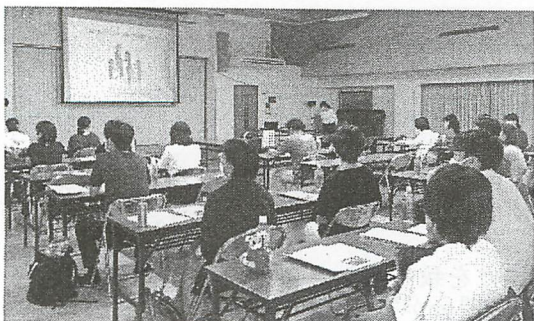
後半は25名の参加者(6名は当日欠席)に3グループに分かれていただいて、より詳しく質問したりお子さんの様子を話して相談したりできるようワークショップを行いました。

まず小学生のグループは、まだまだ子育ての真っ最中なので普段は将来についてなかなか考えられなかったり、考えても漠然としたものようでしたが、何といたってもお父さんの参加が多く熱心な姿に感動してしまいました。「今は自分でできることを一つずつ増やし、将来働くために何かお手伝いをさせてあげるといいですね。」とアドバイスしました。

次に中学生のグループでは、「進路についていつから考えれば良いのか、情報をどこから得るのか、今までは計画をセルフプランで立てているが相談支援を受けたい。」と、より具体的な質問が出たようです。「お子さんは必ず成長されるので、その時々でお子さんに合ったところを探すといいです。各区の障害者基幹センターに相談し、紹介していただくのもいいですね。」とお伝えしました。

そして高校生は、進路等一番お悩みが多くなる時期ですが、このコロナ禍で事業所への実習に行くことができず、事業所の情報も得られないのでどうすれば良いのか悩んでいたとお聞きました。「やはり基幹センターは情報の宝庫なので何でも相談するといいですよ。区分認定調査の時もお世話になることですし。」と助言いたしました。

全体的に参加の方は、福祉の制度を学んだり情報を得る方法を知るために渡邊センター長の講演



を一生懸命聞いてみえ、このような学習会の必要性を強く感じました。資料も「わかりやすいのでぜひコピーさせてほしい。」との申し出があり、大変うれしく思います。

これからも育成会は知的に障害のある人やご家族、支援する方たちのためによりニーズに合った学びの場を提供していきます。最後になりましたが、学習会案内の配布にご協力くださった学校関係の皆様、各支部の皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

くらす・こうれい部会

くらす・こうれい部会は今年度「本人の高齢・健康」と「家族の高齢・健康」に焦点を当て活動しています。

コロナ禍の中、9月30日に「エンディングノートを今年も書こう」をテーマに今年度初めての部会を開催しました。

平成22年に「自分のことだけでなく障害のある我が子についても書き残したい」という部員さんの希望により皆さんの意見を集約し、育成会独自のエンディングノートを作成しました。10年近く経ち、一度見直そうということで昨年「改訂版」を作成しました。今回のノートは子どもの部分を切り離し、子どもの部分はまもる部会で取り組んでいる新しい生活支援ノートに託し、親の部分だけを書き込む形のノートです。

部会ではノートに書き込みながら皆さんの話の中から遺産相続、遺言、成年後見、尊厳死についてなど課題が多く出て、これからの部会の学習ポイントになりました。

11月の部会は、11月25日（水）に「親亡き後の暮らしについて」をテーマに、中川区障害者基幹相談支援センター センター長渡邊理恵子氏を講師に、親亡き後に備えて親ができることは何か、知っておきたい制度や情報、使えるサービスは何かがあるか、65才までにやっておくことは何かなど学習します。

1月以降は、成年後見についての復習やまもる部会との合同部会を予定しています。会員さんであればどなたでも参加できます。多くの会員さんのご参加をお待ちしております。



まもる部会

コロナ感染症予防の為、学習部は5月から活動する予定が大幅に遅れて、手の消毒を行い、密集はさげ、換気にも気をつけて、9月24日（木）に3階ホールにてようやく開催しました。

初回は、今年度の予定、簡単な自己紹介と、生活支援ノートの作成に当たり取り組み方を話し合いました。平成23年に支部活動対策部が作成した生活支援ノートを叩き台にし、障害のある本人が生涯にわたって安全で安心した生活が送れるように、本人の自己選択、自己決定に出来るだけ添い本人の特性、人間性、こだわり、健康・医療の記録、発達の記録、生活の状況、制度の利用状況、支援の状況等本人のことをわかりやすく伝えられるように前回のノートの内容を確認しながら、時代に即したものとするため「金銭について」「防災について」など項目を増やしていくこととしました。

本人の情報を出来るだけ1ヶ所にまとめ支援者と共有出来る資料として、親なき後に引く継ぐ資料として残していきましょう。

まもる部会は生活支援ノートを令和2年度で制作を完成したいと考えています。皆さん、ごいっしょにがんばりましょう。

10月29日（木）、11月24日（火）の部会は引き続き、生活支援ノートを作成します。前回出席できなかった方もぜひご参加ください。（※平成23年度版生活支援ノートをお持ちの方は、当日お持ちください。）



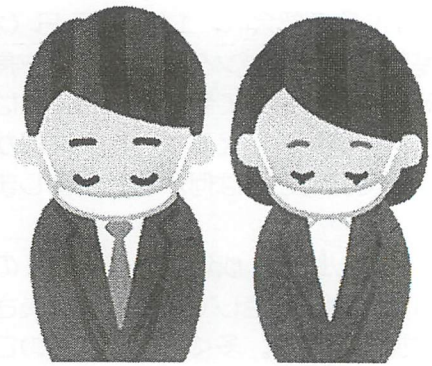
名古屋手をつなぐ育成会 生活支援事業の開催の見込みについて

現在、新型コロナウイルス感染症の新規感染者は減少傾向にあるものの、感染者数は10名前後で推移しており、感染予防対策としてマスクの着用や手指の消毒は欠かさず、三密を避ける等は継続することが求められています。

当会法人では年度計画において生活支援事業の各種を予定していましたが、コロナを回避できる条件が整いません。従って年度計画に上げております事業の開催が、残念ながら出来ない状況にあります。

また、冬に向けてはインフルエンザの流行が予想され、新型コロナウイルス感染症と合わせて一層の注意と徹底した予防対策が求められています。

今後予定されています生活支援事業についての見通しを、現状を踏まえご連絡致しますのでご了承お願い致します。



中止とする事業

- **第56回重度在宅児・者研修旅行**
延期していました南知多ビーチランドへの研修は、中止します。
- **アート支援事業美術展**
今冬に予定していましたアート支援事業美術展は中止します。

実施の見通しが立っていない事業

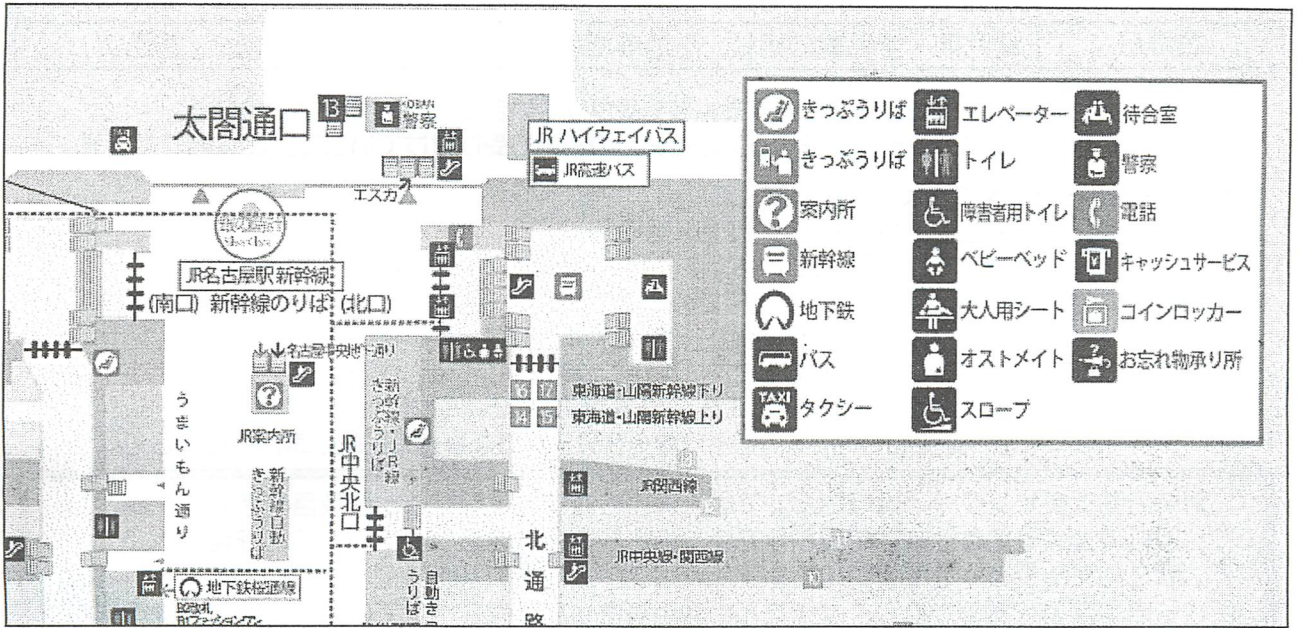
- **フライングディスク教室**
あいち障害者フライングディスク競技大会が中止となったことから、今年度の実施予定は現在のところありません。
- **青年教室及び青年の会**
今年度の開催の見通しは立っていません。



名古屋駅・栄駅の バリアフリーマップができました

名古屋市では、バリアフリー基本構想を作成している地区周辺の現状を、障害者団体等による現地調査を行い、障害者をはじめ誰もが公共交通機関の乗換がスムーズに行える情報を掲載した「バリアフリーマップ」を作成しました。名古屋市障害福祉のホームページ、ウェルネットなごやからダウンロードすることができます。

エレベーター・エスカレーターなどの上下移動の保証、障害者用トイレ、案内所など、外出に必要な情報が細かく書かれています。ご活用ください。



(名古屋駅のバリアフリー地図の一部を引用)



久屋大通公園が新しくなりました!

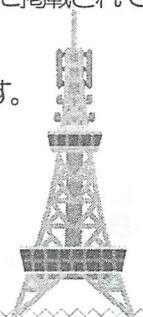
♪Pisayaodori Park

久屋大通公園エリアの一部、テレビ塔を含む南北1キロメートルほどの部分が、公園と商業施設が一体となったRAYARD Hisaya-odori-park(レイヤード久屋大通/パーク)として再開発されました。芝生を中心とした、見通しの良い公園となりました。

RAYARD Hisaya-odori Park フロアガイド パーク内の地図は、フロアガイドとしてホームページに掲載されています。

ソーシャルトラック 芝生公園のドリンクやお土産を売るトラックで、公園の案内を行っています。

尚、この再開発にあたっては、2018年、「久屋大通公園整備運営事業に係る意見」として名古屋市が各障害者団体より意見を求め、育成会でも支部活動対策部で意見をまとめました。どのように整備されたか検証してみましょう。



名古屋手をつなぐ育成会生活支援センター相談事業のご案内

☆育成会相談室 悩みご相談のある方ご利用ください。電話相談もしくはお電話の上ご来館ください。

生活支援センター長 山崎 梅治		
曜日	相談受付内容	担当者
月曜日	就労生活相談、生活等相談、権利擁護の相談	木崎 真理子
火曜日	成年後見・権利擁護の相談、生活等相談	永田 さよ子
水曜日	就労生活相談、生活等相談	綱木 みどり
木曜日	幼児期・学齢期の相談、生活等相談、権利擁護の相談	山口 美佳
金曜日	幼児期・学齢期の相談、生活等相談	濱田 智恵実

※旧優生保護法に関する相談も受付けています。

※ボランティアをやってみたい方の相談も受け付けています。お気軽にどうぞ。

社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会 事務局

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮四丁目4番5号

Tel(052)671-6211 (代) Fax(052)671-6214

中川区障害者基幹相談支援センター お気軽にのぞいてみてください。(市内どこからのご相談も受け付けます。)

開設日・時間 月～金曜日 第2・4土曜日 (9時～19時)

〒454-0869 名古屋市中川区荒子一丁目141-1 奥村マンション1階

Tel(052)354-4521 (直) Fax(052)354-2201

地下鉄東山線高畑駅3番出口徒歩8分・あおなみ線荒子駅下車西へ徒歩8分

地域活動支援センター「はぼたん」では、障害に対する理解促進と普及啓発活動の一環として利用者の社会参加と地域との関わりを持つことが増え自信をつけていくことを目的として「はぼたんマルシェ」を毎月第3水曜日10時30分～12時に開催することになりました。事業所から自主製品をお預かりし、はぼたんの利用者さんが販売をさせていただきます。はぼたんの利用者さんは初めての取り組みということで開催日を楽しみにしながら、初回の10月21日に向けて準備を進めています。開催時にはお立ち寄りいただけると嬉しいです。

各区

中村区手をつなぐ育成会

笑顔の励ましに感謝

今回は世界中で猛威を奮っているコロナ禍 自粛期間で感染防止に努めた事例を紹介します。

①青年学級保護者代表竹森さんは、毎月行事の中止のお知らせの際マスクの使用、手洗い・・・不要不急の外出禁止を呼びかけ、一人暮らしの方には電話での励ましを続けていると伺い・・・ご自宅でも徹底した消毒の見本を示して下さいました。

②知的相談員の宇佐見さんの娘さんの通う作業所では手作りマスクを作り皆さんに配る傍らコロナ感染の怖さが理解出来ない人への説明の難しさを痛感し、外出時、お店等利用する際マスク着用を手伝い、手を繋ぎながらお店に入る事で自分のマスクを取らない事や余分な所に触れさせない工夫を試み、温かく励ました結果、今の所、感染はありませんと語っておられました。

③私の娘もコロナ感染が命に関わるという怖さを根底では理解していません・・・

マスク着用やお店の入口の消毒は熱心に行っても、その安心感なのかふと周りの所に触れたりします。本来物に触れながら成長してきた、この子供達から唯一の行動を奪う様で、かわいそうですが薬やワクチン等が整備されるまでお互い忍耐との戦いです・・・有難い事に行動範囲が広い娘の周りには、気が付いた事等を心配して丁寧に説明して下さる方々が沢山見える事と、親の私より、言い訳を聞ける存在を味方になっている事も改めて気が付き、感謝の気持ちで一杯です。

コロナ禍は、まだまだ終息していませんが、これからも皆さんと共に励ましあいながら感染防止に努めてまいります。

会長 舘 富士子

各会

サポートbeing緑親

緑親の歩み

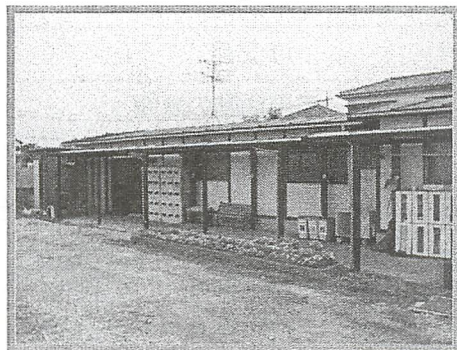
サポートbeing緑親は緑区の知的に障害を持つ方の親御さん達のご尽力により発足しました。約40年前まで歴史をさかのぼり節目ごとに簡単な紹介をさせていただきます。



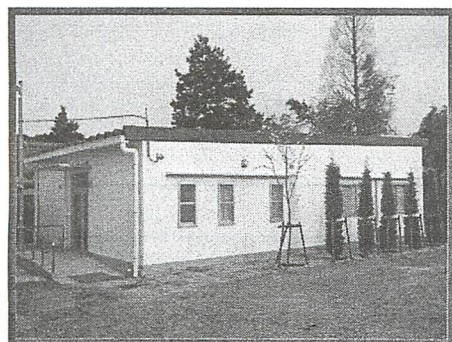
昭和54年3月、知的に障害を持つ子供の親達が鳴海町坊主山に集まりメンバー（牧野様）の自宅の一室で作業所建設のための活動を始めました。現在、当時の建物の面影はありませんが、偶然にも真向いに住む事になった私（宮瀬）は自宅の窓からこの景色を見る度に「緑親はここから始まったんだなあ・・・」と感慨深く想う事があります。



昭和58年4月、鳴海町丹下の阪野様のご自宅の離れを貸していただき「緑親会小規模作業所」を開所。この頃、阪野様より現住所の土地のご寄贈を受けました。



- 平成11年旧棟増設工事完了。
- 法人のバックアップにより敷地に入る為の道路を購入したり、排水溝、擁壁などの環境整備がされていきました。
- 現在の所在地（鳴海町森下）に移転したのは昭和60年頃。



- 現在の「サポートbeing緑親」。
- 平成25年新棟建築。
（法人による環境整備事業）
- 平成21年4月「緑親会生活介護事業所」に改名。地域活動支援センターから生活介護事業所として新体系に移行しました。



本人参加のページ



サポートセンターbeingあつた

さまー こんさーと

たの

「サマーコンサート」を楽しみました。

令和2年7月17日(金)午後、育成会福祉会館3階ホールにおいて、サマーコンサートを開催しました。毎月音楽活動をお願いしております高橋真由美先生(ピアノ)と今回はオカリナの角堀善規さん、フルートの角堀里美さんの3名で「花は咲く」「さんぽ」「パプリカ」他10曲の演奏でした。

関谷友里の発表会で歌った
古夕銀隊を聞いてなつかしく
なりました。あと、私は、アニメの
ファンで鬼滅の刃紅蓮華が
フルートとオカリナとこんびが
かっこいいと思いました。ピアノで
弾いていると3人で歌いそうに
なりました。



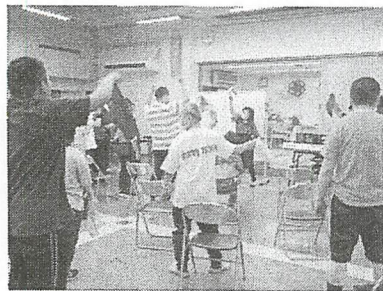
たのしかったです
あべんとうかおもしろかったです
サは口笑かまけてたのしかったです
+あけて日あけてあみこ
してたのしかったです
上ほゆらま

たのしかったです
おんがくかつどう
貞保まろみ

たのしかった
加藤真一

7月17日(金)曜日

オカリナとフルートの音楽で
嵐のふるさどが聞けて
うれしかったです。



さんぽ
パプリカみました。
ふるさとたのしかったです
まほゆらま



例会のお知らせ

	11月	12月
支部活動対策部	10日(火) 区長要望検討・共通要望 について 日にち未定 ミニ研修会	1日(火) 支部活動の課題
支援プロジェクト部会	19日(木) ワーキング	17日(木) ワーキング
会長会	19日(木) 10:30~	10日(木) 10:30~
広報啓発委員会	原稿締切 11月 6日(金)	原稿締切 11月20日(金)
会報編集	編集会議 11月 9日(月)	編集会議 11月30日(月)
	編集・校正 11月12日(木)	編集・校正 12月 2日(水)
下記の学習部会は、会員さんどなたでもご参加できます。		
そだつ・はたらく部会	26日(木) 「家庭での金銭教育」	休 み
くらす・こうれい部会	25日(水) 親亡き後の暮らしについて	休 み
まもる部会	24日(火) 生活支援ノート作成	休 み

表紙について

「アマビエ」

コロナ(感染)が終わるといいなと思ってかきました。

— 瑞穂区手をつなぐ育成会 加藤真智子 様 —

アマビエは、日本に伝わる半人半魚の妖怪。江戸時代、熊本の海に光り輝く姿で現れ「疫病が流行ったら私の写し絵を早々に人々に見せよ」と言って海中に姿を消したと言われています。

◎ 賛助会費ありがとうございました。

西尾由美子様

9月*名古屋手をつなぐ育成会会議等

3日(木)・学習部会議	於第1会議室
4日(金)・広報・啓発委員会	於第1会議室
8日(火)・広報・啓発委員会	於第1会議室
・支部活動対策部	於3階ホール
10日(木)・広報・啓発委員会	於第1会議室
17日(木)・支援プロジェクト部会	於第1会議室
18日(金)・そだつ・はたらく部会	於3階ホール
24日(木)・まもる部会	於3階ホール
29日(火)・センター長・管理者会議	於第1会議室
・GH世話人会議	於3階ホール
30日(水)・くらす・こうれい部会	於3階ホール

*各区・各会行事

13日(日)・港区育成会	健康体操でからだを動かしましょ	於作業所さきらり
23日(水)・名東区育成会	ZOOM会議	於各自宅
25日(金)・昭和区育成会	定例会	於笠原宅
28日(月)・名東区育成会	めいとうボランティア展について打ち合わせ	

於障害者スポーツセンター会議室

*他団体関係事業・行事

10日(木)・社会福祉法人愛知県社会福祉協議会運営 適正化委員会委員選考委員会	於愛知県社会福祉会館 永田副理事長出席
25日(金)・第6回名古屋市障害者施策推進協議会専門 部会	於名古屋市公館 木崎理事出席

正会員・賛助会員を募集しています

入会者には毎月会報をご送付します。

【正会員】

1. 本人・保護者会員＝知的障害のある本人、保護者で
本法人の趣旨に賛同し本部会費(月額500円)と支部
(各区・本法人外施設)会費を納入した方。
2. 施設利用者会員＝本法人施設利用の保護者又は保
護者のいない本人で本法人の趣旨に賛同し、施設利
用者本部会費と支部(区支部と本法人運営施設支部)
の会費を納入した方。
3. 役員・職員会員＝本法人役員・職員で本部会費(月額
500円)を納入した方。
4. 地域賛同者＝本法人の趣旨に賛同し本部会費(月額
500円)を納入した方。

【賛助会員】

本法人の趣旨に賛同し、財政援助(年額3,000円以上)を
された方。

【特別賛助会員】

本法人の趣旨に賛同し、財政援助(年額1口5,000円)を
2口以上された方。

振込先:郵便局 口座番号:00850-5-53143

加入者名:社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会

—お問い合わせ先— TEL052-671-6211

社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会 事務局

サクッキー
Sacookie
— being Sakurayama —



販売始めました

10月1日より

ぜひお買い求めください

お菓子づくりのプロである丹羽萌子氏（Sweet sHERO）監修・支援協力、公益社団法人名古屋青年会議所支援協力の下、being 桜山の新商品「Sacookie」の開発を行ってまいりました。また、パッケージのデザインについては、椋山女学園大学の学生の皆様にもご協力をいただきました。



〔プレーン〕

〔紅茶〕

〔ビターチョコ〕

〔ココココ〕

各 350 円（税込）

販売各所 being 桜山、SELP バザー 他

今後名古屋青年会議所の協力の下増えていく予定です。

オンライン販売も始めました。 <https://sacookie.shop-pro.jp/>



Sacookie（サクッキー）のこだわり

○砂糖：ミネラルやカルシウムが豊富に含まれている、天然素材のきび砂糖を使用しています。

○バター：発酵バターを使用することにより深いコクと特有の風味がします。

○塩：塩の量を調整することにより、甘みと素材そのものの味が引き立っています。

○サイズ：サイズを一口で食べやすいちょうどいい大きさにしています。

○パッケージデザイン：椋山女学園滝本研究室の皆様にご協力いただき、魅力的な洗練された装いになっています。チャックを付けることで、持ち運びやすく、また透明にしたことにより、中の味を確認できます。

【詳しい説明を、ぜひご覧ください。】

→ <http://www.sacookie.net/>

